

Be-News

別府大学のアツい想いをスクープ



別府大学
別府大学短期大学部

NO.118
2019 SPRING

Beppu University, Beppu University Junior College Magazine

Be-News

学校法人別府大学
創立110周年記念式典
学園祭レポート
研究室訪問
学びのトビラ
クローズアップ別大生
卒業生インタビュー
こんにちは先輩!!
地域連携

編集／別府大学・別府大学短期大学部 広報室 発行日／平成31年3月20日 印刷／佐伯印刷株式会社
別府大学・別府大学短期大学部 〒874-8501 大分県別府市北石垣82 TEL.0977-67-0101
禁断転載

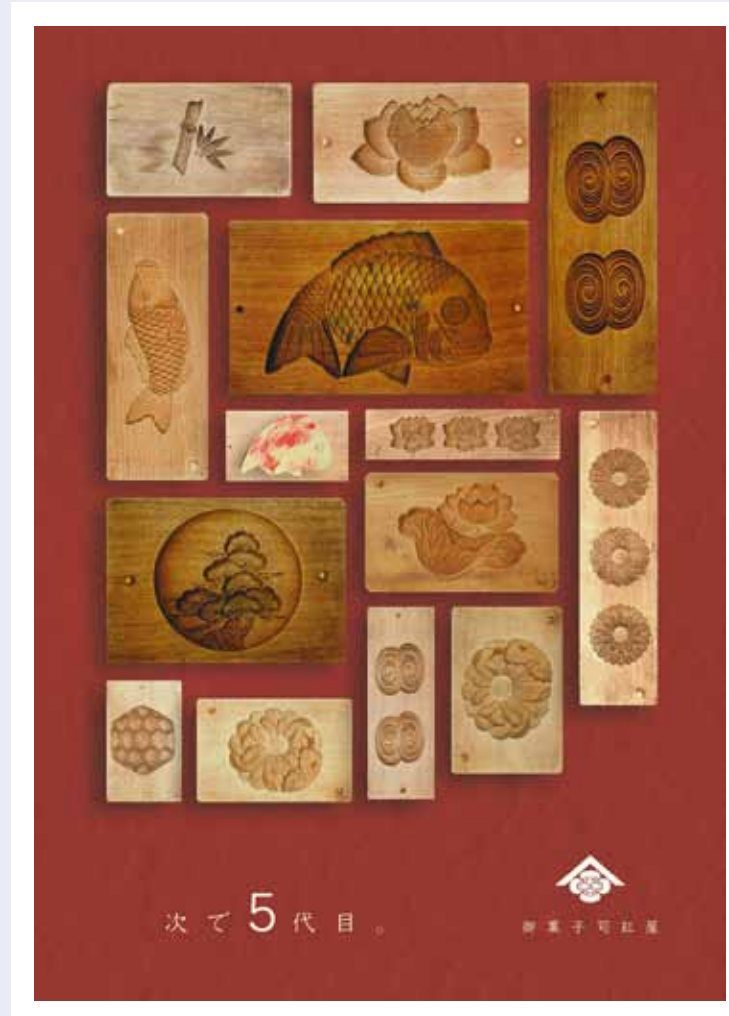


真理はわれらを自由にする

別府温泉大学

温泉を学べば地域が見える

後篇



「御菓子司紅屋のリブランディングポスター」

神屋 克成（文学部 国際言語・文化学科 絵画&デザインコース 平成30年度卒業）

現在、色々なお菓子がある中で「古い」というイメージの和菓子を若い人にも手にとってもらう為に、和菓子の魅力が伝わるデザインを研究。実際にある御菓子司紅屋をテーマに、商品パッケージやイメージポスターの制作によりブランドイメージの再構築を試みる。木型を使うことにより「和」を、「次で5代目。」という言葉で「歴史」がイメージできるポスターを制作しました。

“はじまり”を見つけよう！

2019 別府大学・別府大学短期大学部

オープンキャンパス

4.21 日 7.15 月・祝 8.17 土

お問い合わせ 入試広報課 TEL.0977-66-9666 [詳細はHPをご覧ください]

別府キャンパス
会場

文学部
国際言語・文化学科
史学・文化財学科
人間関係学科
国際経営学科
国際経営学科
食物栄養科学部
食物栄養学科
発酵食品学科
短期大学部
食物栄養科
初等教育科



昼食付&オリジナルグッズ
プレゼント

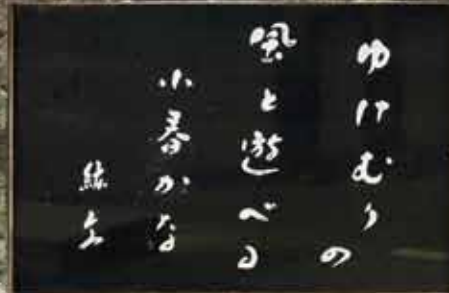
開講!

別府温泉大学

温泉を学べば地域が見える

後篇

源泉数、湧出量ともに日本一の別府温泉は、「おんせん県おおいた」を代表するエース的存在。8つの温泉地から成り立つ「別府八湯」は、それぞれ泉質が異なり、いろんな温泉を楽しめるため、温泉好きからは聖地とも呼ばれる温泉地です。「別府温泉大学」後編の講義は、その中から鉄輪温泉にスポットをあてて、ご紹介します。



鉄輪の湯けむりが一望できる湯けむり展望台には、別府大学文学部教授であり、「鉄輪俳句簡湯けむり散歩」の選者だった倉田紘文先生の句碑があります



「学生からは“別府のお母さん”と言われます(笑)」と女将の木村さん



御宿温泉閣を営む河野代表。優秀作を紹介する「鉄輪ごよみ」も人気とのこと

鉄輪温泉と別府大学とのアツい関係を探る

湯けむりたなびく鉄輪温泉は、昔ながらの湯治場の面影を残す歴史ある温泉地。別府大学からも近く、別府大学の国際セミナーに参加する外国人学生や、司書講習の受講生が鉄輪の旅館に滞在しており、大学とも並々ならぬ縁があります。

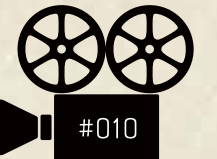
江戸時代に創業という、鉄輪でも老舗中の老舗宿の辰巳屋旅館さん。司書講習の受講生の滞在を50年以上にわたって受け入れてくださっています。「毎年15人前後の受講生が50日間の講習期間を辰巳屋で過ごします。共同生活は初めてという方もいるのですが、修了後には人生観が変わったと感謝されることも。滞在中は鉄輪の風情も満喫してもらいたい」と、6代目館主の木村健三さん。食事や洗濯、大学への

送迎と、滞在中は勉強に集中できるように、女将と二人でサポートします。利用する受講生たちにとって、かけがえのない思い出になっているようです。

一方、「倉田先生には、感謝してもきれない」と話すのは、まちづくりグループ『鉄輪愛酎会』代表の河野忠之さん。鉄輪を散策すると、至る所で句碑を見かけますが、これは同会が毎年募集している『鉄輪俳句簡湯けむり散歩』の優秀作品を刻んだもの。この活動に共感し、選者としてサポートしてきたのが、別府大学で教鞭をとっていた倉田紘文先生(故人)です。「平成4年に始まり、毎年約2千句もの投句を数えています。おかげで鉄輪に俳句の文化が定着しました」。

大学とまちが交流することで、様々なドラマが生まれています。

別府大学アーカイブズ



思い出のティールーム参号館



なごみに続くスロープのところにあった「喫茶参号館」

別府大学の正門を入ってすぐにある、コンクリート造りのモダンな建物3号館。かつてこの1階には、「参号館」という小さな喫茶店がありました。お店を切り盛りしていたぐくに子ママ手作りの「参号館ランチ」は、バランスがとれた家庭的なおいしさで、学生や教職員に人気でした。冬の風物詩「おでん」も心待ちにするファンが多かったとか。

参号館のもう一つの魅力は、知的で文化的でユーモアがあふれるサロンであったこと。教職員が学科や部署を越えて気さくに交流ができる「たまり場」になっていました。知的関心を共に



閉店を惜しむ「参号館を愛してやまない喫食員の会」による寄稿集。参号館への感謝の思いが綴られています



明るい黄色の壁に教員や学生のスケッチや書が飾られ、モダンな雰囲気の店内

有し、時に学生と教員が自由に語り合う教室にもなり、まさに建学の精神「真理はわれらを自由にする」を具現化した空間だったといえるのではないのでしょうか。

20年続いた参号館は、平成6年2月に惜しまれつつ閉店。自由であたたかな語らいの場、参号館の思い出話を聞くほどに、うらやましくなります。

Be-News NO.118 CONTENTS

※今号では、学生は平成31年度の学年で掲載しています

03	特集
08	開講！別府〰️温泉〰️大学・後篇
12	温泉を学べば地域が見える
13	学科からのトピックス
14	第73回 石垣祭
15	学校法人別府大学
16	創立110周年記念式典
17	キャンパスボイス
18	テーマ／平成最後〰️にやっておきたいこと
19	研究室訪問 学びのトビラ
20	短期大学部 食物栄養科 准教授 衛藤 大青
21	クロージズアップ 別大生
22	河野 共喜
23	幸 美里
24	(食物栄養科学部 発酵食品学科 4年)
25	(短期大学部 食物栄養科 平成30年度卒業)
26	Be-Recipe
27	ふわふわ豆乳フレンチトースト
28	別大生の御用達
29	うどんひだか
30	サークル紹介
31	バドミントン部
32	イラスト研究部
33	卒業生インタビュー こんにちは先輩!!
34	若狭 敏晴さん
35	佐伯 尚治さん
36	(文学部 美術学 美術史学科 卒業)
37	川口 勢津子さん
38	(短期大学部 生活食物専攻科 卒業)
39	地域連携
40	城下町一帯で、別大生が活躍！「きつき大茶会」
41	留学生が国東市立旭日小学校と交流
42	インフォメーション



地獄蒸し

新スタイル 地獄蒸しメニュー

食物栄養科学部 食物栄養学科

梅木美樹 准教授

別府 O N S E N アカ
デミアが企画した60〜70
代のシニア層に向けた4
泊5日健康増進体験ツ
アーに、別府大学の食物
栄養学科が参加し、地獄
蒸しを使った自炊レシ
ピ開発に協力しました。温
泉の蒸気で食材を蒸す
地獄蒸しは、鉄輪では江
戸時代から用いられて
いた伝統の調理法。訪れた
湯治客は各々が地元
の食材を購入して、温泉
の熱い蒸気を利用してか
まどで自炊料理を楽し
みます。

ニユーは6食。なかでも人
気だったのが冠地鶏のカ
ボス醤油蒸し。
「カボスでアクセントを加
え、パンチを効かせた味が
好評でした。ツアー期間
中は、すべて地獄蒸しと
いうコースだったので、飽
きさせないように工夫を
凝らしました。ニラ豚の
蒸し焼きそばでは、あえ
て香り付けにごま油を加
えて、味に変化をつけま
した」

面白いと評判だったの
はフレンチトースト。蒸し
て食べるスイーツは、さぞ
や美味しかったこと
でしょう。地域住民対象の
公開講座も開いており、
毎回たくさんの方参加が
あります。
「地獄蒸しで、どんな成
分変化があるかの研究に
も取り組んでいます」
次はどんなレシピが提
案されるか、楽しみです。



ふわふわで
やわらかい
フレンチトースト
※レシピをP18で
紹介!!



趣向が凝らされた
地獄蒸し料理の
数々



地獄観光

ようこそ地獄へ。 地獄観光ご案内

国際経営学部 国際経営学科

中山昭則 教授

別府観光の代名詞と
も言われる地獄めぐり
の中で、もともと人気
高いとされる、海地獄に
オープンした「ギャラ
リーAO」が注目を集めて
います。ギャラリーには「別
府地獄の今昔物語」「四
季折々の海地獄」などの
コーナーがあるのですが、
これらの監修を務めたの
が中山昭則教授です。
「もともと地獄は、地元
住民にとって厄介もの扱
いをされてきました。そ
れを逆手にとって観光資
源化した初代オーナーの
千寿吉彦氏には、感心す
るばかりです」

日本初の女性バスガイド
付き遊覧観光バスを開
通させ、観光客が押し寄
せる展開になったエビ
ソードは有名です。
「地獄のような観光ス
ポットは他にもありま
すが、別府のように広域に
わたって多数の地獄が点
在しているのは珍しい。な
かでも鉄輪エリアはバラ
エティに富んだ地獄が密
集しており、別府観光必
須のコースになりました」

ギャラリーでは単なる
展示に終わらず、「いつ
から地獄と呼ばれてい
る?」「別府温泉の年齢
は?」「クイズ形式で地獄
や温泉のトリビアを解
いていくコーナーも設け
られています。
かつてはローカルな湯
治場だった別府を、あこ
がれの観光地に押し上
げた地獄めぐりのルー
ズを体感してみませんか。



別府地獄の
歴史をわかりやすく
解説



クイズをクリアして
温泉博士に
なろう!



歩こう、学ぼう 湯けむり 漂う 鉄輪“研究”散策

知れば知るほどオモシロイ♪
魅惑の鉄輪温泉を徹底研究!



鉄輪むし湯

鉄輪むし湯の石菖に 新たな香り文化を

食物栄養科学部 発酵食品学科

米元俊一 教授

「実はお風呂の語源は蒸
し湯なんです」
いきなり驚きの事実を
聞かせてくれた米元俊一教
授。お風呂や温泉と聞け
ば、「お湯」= 温浴を思い浮
かべますが、もともと江戸
時代には両者が区別され
ていて、そのうちお湯の文
化が定着してきたのだそ
う。世界的には宗教観の
違いにより、蒸し湯が発展
したり、サウナやシャワ
ーの文化が生まれたり、聞
けば聞くほど知的好奇心
がきたてられます。

豊富な湯がある別府で
は、その必要がありません
からね」
別府独自のスタンダー
ドである鉄輪むし湯の、も
うひとつの特徴は石菖で
す。八畳ほどの石室には、
清流沿いにしか群生しな
いとされる石菖が敷き詰
められ、その上に横たわ
り、汗とともに毒素を流
し出すのでデトックス効果
は抜群です。

「青くさい葉に似た、どこ
か懐かしい香りもする石
菖ですが、研究室ではこの
香りを分析し、脳や血流へ
の効能なども調べました」
研究結果を受けて、米
元教授は「健康」にポイン
トを置いた、世界に通ずる
蒸し湯文化を発信すべき
と提案します。
「カボスやサフランなど、
大分特有の香料植物の香
りも考えられる」
鉄輪むし湯には、まだま
だ可能性がありそうです。



石室の一面に
石菖が
敷き詰められています



石菖の香りには
抗認知症効果も
あるといわれています



血の池地獄

古代遺跡に残る 赤い絵の具と血の池地獄

文学部 史学 文化財学科

上野淳也 准教授

別府市内にある国指定
の古墳といえ、鬼の岩屋
古墳群(別府市上人西町)
が有名ですが、2017
年に実相寺古墳群が国指
定に追加されました。な
かでも注目は、大分県下最
大の石室を持ち、最古に
して最大の方墳ということ
が判明した鷹塚古墳が含
まれていること。この発掘
調査を行ったのが、別府大
学文化財研究所の上野准
教授です。
「もともと隣接する太郎
塚、次郎塚古墳の調査か
ら発掘に至ったもので、6
世紀末に造られたと思わ
れます。九州は円墳や前方
後円墳が多く、方墳は珍
しい。しかも「辺が約30メ
ートルと非常に大きい」(上
野淳也准教授)
さらに別府ならではの特
徴が、古墳内部に塗られた
装飾に、血の池地獄の顔料
が使われていたことです。
「血の池地獄そのものは豊

後国風土記にも記され、
当時は赤池と呼ばれてい
ました。火山活動にともな
う水脈の関係で出来たも
のと思われ、赤色顔料はそ
の熱泥から採取されたも
の。赤色顔料が貴重な資
源とされる時代であり、神
社やお寺に赤が使われて
いるのは腐敗を防止するた
めとも言われています」
赤は古くから神聖な色
だとか、富の象徴だとか言
われていますが、その原料
を血の池地獄から採取し
ていたとは、温泉文化との
関わりが深い別府ならではの
事実です。

「同じ成分の赤色顔料を
使った古墳が、玖珠や日田
にあることも興味深い。古
代から別府は重要な拠点
とされており、中九州道の
歴史がわかる手がかりにな
りそう」
別府にまつわる歴史ロ
マ、まだまだ掘りを見出
せそうです。



古墳内部に
塗られた装飾

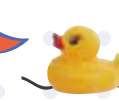


空から見た鷹塚古墳。
一辺が約30メートルもある



その後、各地獄の所有
者たちが様々なアイデア
を凝らした地獄を企画。
温泉熱でワニを飼育す
る鬼山地獄、珍しい熱帯
魚を楽しめる白池地獄
など、鉄輪はテーマパ
ークさながらのエリアに
変貌。これに油屋熊八翁が





別府を学びの場に

湯けむり

健康教室



食物栄養学部
食物栄養学科

中村弘幸 講師

別府大学食物栄養学科では、本学健康センターと連携し、地域の高齢者を対象に、温泉を利用した「温泉療法」・「運動療法」・「食事調査」・「身体計測」・「血液検査」をもちに栄養指導を実践する「栄養療法」の3つの療法を取り入れた「湯けむり健康教室」を、2004年から開講しています。

「65歳以上の高齢者が対象で、最高年齢は87歳。継続的に参加されている方も多く、おかげさまで大変好評です。学生にとっても、食事に関するヒアリングや検査を直接個々に行う機会は少ないの

で、教科書だけでは学べない貴重な実践の場になっています。学生たちには、自主性をもってアドバイスするよう指導しています」（中村弘幸講師）

「また、学生たちは参加者である高齢者の皆さんにとって、ちょうどお孫さんにあたる世代。教室を通じて交流を深め、協力しあえる関係も築かれており、毎回の講座を楽しみにされている参加者も多いと聞きます」

年に数回、メディアホールで開かれる栄養教室も大きな見せ場。チーム別に分かれ、「高血圧と減塩の関係」「腎疾患の予防」といった毎回のテーマにそった発表をステージで行います。



風光明媚な屋外温泉で運動も楽しく！



参加者と向き合っ、個々にあったアドバイスをしています

平成31年度
湯けむり健康教室
参加者募集中
お問い合わせ
TEL.0977-66-9630
(食物栄養科学部事務局)

「あまり健康に興味のない方にも楽しんでも見てもらうため、寸劇や動画を交えるなど趣向を凝らしたプレゼンは必見です」

体も心も健康になりそうな教室です。

発酵食品学科

開発

別府温泉水あまざけ



セレクトショップ大手のビームスと別府市があたりしきりやげものづくりに取り組み「BEAMS EYE on BEPPU」企画に、食物栄養科学部発酵食品学科が参加し「別府温泉水あまざけ」を商品化しました。

別府の炭酸水素イオンを豊富に含んだ温泉水と県産米、国産こうじのみを使用し、温泉の塩分でまろやかな甘さを味わえます。ノンアルコールなのでお子様からお年寄りまで幅広い世代の方に飲んでいただけます。また、パッケージのデザインも国際言語・文化学科の学生が制作し、別府大学発のおみやげ品が完成しました。

発酵食品学科の開発チームは、別府らしいおみやげを作ろうと、2018年6月に研究をはじめ、あまざけに合う温泉水を探し、官能検査を重ねました。ビームスジャパン（東京・新宿）のほか、大分市や別府市内の店舗で販売し、好調な売れ行きとなっています。

また、今回の企画に関連し、商品化に携わったビームスバイヤーの鈴木修司さんの講演会も本学で開催し、開発チームの学生とともに、あまざけの商品化への想いをお話いただきました。



ビームスジャパン店頭でも試飲を行いました



ビームスバイヤーの鈴木さん(中央)とともに、あまざけを紹介



導入
演習

「ジモ泉」で学ぶ、別府の温泉

史学文化財学科では、学科に入学する学生の半数以上が県外出身者です。学生時代を別府で過ごすのだから、別府ならではの「ジモ泉文化」を知ってもらおうと、市内の南石垣公民館で「導入演習」を行っています。南石垣公民館は、1階が「南石垣温泉」で住民が運営する共同温泉で、公民館と共同温泉が併設する別府ならではの「ジモ泉」スタイルになっています。南石垣温泉を管理している方や別府市観光協会、別府市役所温泉課の方など、地域



暮らしに密着した温泉文化を体感

温泉学概論から 温泉は本当にリラックスできるのか!?

公開授業「温泉学概論」では、様々な専門家が「温泉」について語るのですが、今年度のプログラムでは、心理学者である矢島潤平教授が「温泉入浴と心理」と題して講義しました。矢島教授は、ストレス研究において、毎年国際学会で報告している気鋭の研究者です。

講義では、「温泉に入るとリラックスできる」という、一般に考えられていることを、入浴前後の精神神経内分分泌免疫学指標と主観的指標を用いて、実証的に分析。その結果、緊張・不安、抑うつ・混乱が下降し、その後も維持し、主観的なストレス緩和効果やリラクゼーション効果の自覚を示唆したことを明らかにしました。今後温泉と、コロナ関係について、更なる研究成果が期待されています。



別大ONSEN新喜劇

別府大学卒業生の早崎貴宏さん(国際言語・文化学科卒)、井上仁志さん(国際経営学科卒)によるお笑いコンビ「おふろ」がお届けする、BeNewsスペシャル漫才！

井上 どうも！別府大学卒業後は東京でお笑い活動をしております「おふろ」の井上でーす！

早崎 半年ほど留年した井上と、マトモに卒業した早崎の二人でやらせてもらってます。

井上 それは言わなくていいって。僕たちは野球部の先輩と後輩だったんですよ。

井上 早崎さんが僕より1学年、上でした。

早崎 いや、1学年と半年だろ。

井上 引つ張り方がエグいですね。

早崎 それはそうと、せっかくBeNewsに出してもらったんだから、別府の話でもしようか。

井上 やっぱ温泉ネタですかね。

早崎 別府温泉は全国的に有名なだからね。東京でも「別府から来ました！」って言えば話が通じるし。ひょっとして僕たち「おふろ」より有名なかもしれない。

井上 当たり前でしょ！自分は福岡生まれで、入学してから別府で一人暮らしを始めたんだけど、別府の銭湯は最高でしたよね。

早崎 しかも格安だし、学生にはたまらないよね。



2018年11月24(土)、別府ブルーバード劇場で凱旋ライブを開催した二人。東京から別府温泉魂で熱い笑いを発信してください！

井上 この銭湯にも必ず名物おじいちゃんがいる、熱すぎて水を入れるなり帰れ!!って激ギレ。

早崎 銭湯あるあるだね。あと野球部で行った時は、牛乳を賭けてジャンケンしてたよな。

井上 早崎さん、いつもジャンケン弱かったですよ。

早崎 「俺に勝たせろ!! 勝たせないなら帰れ!!」って言ってたよな。

井上 名物じいさんじゃねえか！

早崎 でも正直なところ、東京に来てから温泉好きになったかも。

井上 わかります。当たり前前に在り過ぎたんですかね。

早崎 あのおじいちゃん、東京に来ねえかなあ。

井上 そっちゃん!!

大麦を使ったチーズケーキ「くすむぎチーズケーキ」

玖珠美山高校と共同開発

食物栄養
学科

食物栄養科学部では、「地方創生大学等連携プロジェクト支援事業（県委託事業）」において、大麦を使った玖珠町の活性化を目的とした取り組みを行っています。この一環として、食物栄養学科は、地元の玖珠美山高校と連携して、玖珠町産大麦粉を使用した「くすむぎチーズケーキ」を共同開発しました。

「くすむぎチーズケーキ」は、大麦粉をねりこんだしっとり濃厚なチーズ生地と土台の大麦グラノーラのさくさく食感、玖珠美山高校特製のブルーベリージャムの酸味がアクセントになったオリジナルスイーツです。夏休みに本学で試作



「くすむぎチーズケーキ」の開発メンバー



美山マルシェで販売した「くすむぎチーズケーキ」



夏休みを利用して玖珠美山高校生と一緒に試作を重ねました

「ワインとチーズを楽しむタベ」開催

～県内産ワインとチーズに解説を添えて～

03

発酵食品
学科

11月13日に、ホルトホール大分のキッチンスタジオにて、「地方創生大学等連携プロジェクト支援事業（県委託事業）」の環として、発酵食品学科の教員が中心となり「大分県内産ワインとチーズを楽しむタベ」を開催しました。

本イベントは、県内産のワインとチーズの知名度をあげ、新しいレシビ開発やお土産としての需要拡大を目指し、一般の方を対象に行われました。4名の講師により、ワインとチーズの発酵メカニズムや、県内産のワインとチーズの特徴について解説が行われました。



同学科教員による発酵メカニズムの解説

また、県内産ワインやチーズの試飲・試食も行い、多くの参加者から、「普段知らない県内産ワインやチーズについて知ることができて良かった」という声をいただきました。

04 “発掘ガール”大活躍！

史学・文化財
学科

～考古学に魅力を感じて～

汗と泥にまみれ、日に焼けるがら従事する発掘調査。そこは男の職場、と思ったら、大間違い。昨今では、考古学を愛し、日焼け止めを塗りながら、自分の好きなことに打ち込む女性が目覚ましい活躍を見せています。

近年、文化財を取り扱う課は、教育委員会から観光部局に置かれることが多く、文化財を地元の経済にどのように役立てるかという課題に取り組んでいます。歴史・遺跡などの活用を、消費者ニーズで見つめ直す必要があります。その場合、女性の視点はますます大切となります。

もちろん、文化財の活用は、緻



多少汚れても、発掘調査に集中！

「高校生のための心理学講座」開講

学校法人別府大学創立110周年記念事業

01

人間関係
学科

9月17日に、別府大学と（財）日本心理学会との共催で「高校生のための心理学講座」を実施しました。この講座では、高校生をはじめとした市民を対象に心理学を身近に感じてもらうことを目的に、心理学の授業を行っています。

今回は、本学の西村靖史教授が「認知・神経心理学」、小野貴美子教授が「スクールカウンセリングについて」、飯田法子教授が「家族関係・集団・地域社会における心理支援」、大分大学岩野卓講師が「依存症の心理学」、久留米大学岡村尚昌講師が「赤ちゃんの心理学」と幅広い分野の授業を行いました。一見、テーマは異なっているようにみえますが、実はいずれの講義もつながりがあります。今回は「脳と心理」が共通テーマでした。

はじめに、西村教授には人間が様々な情報を脳の機能がどう処理して心と関連しているかなど基礎的な授業をしてもらいました。それを受けて岩野講師には、アルコール依存症の発生メカニズムや対処法に脳がどう関わっているか話してもらいました。次に、岡村講師に赤ちゃんがどんな心

を持っているのか、感じ方や育て方がどう脳に影響するのか、そして飯田教授と小野教授には次のステップである乳児期から青年期の発達や困り事の支援方法について事例を交えて解説してもらいました。

当日の参加者は約60名で、高校生が半数を占め残り半数は大学生や市民でした。60代の方も参加しており、公開講座の意義を強く感じたところです。参加者に感想を聞いたところ、「内容に興味を持てた」「わかりやすかった」「新しい知識を得ることができた」「心理学についての関心が増した」など概ね高評価を受けました。

本学人間関係学科と大学院臨床心理学専攻では、本年度より心理学の初めての国家資格『公認心理師』の養成を始めています。心理学講座の受講生には、将来カウンセラーを希望している高校生もあり、小野教授や飯田教授の授業でとりあげた、実際のカウンセリング事例は大変参考になったと思います。

大分県では、初めての開催でしたが、高校生や市民の方の関心の高さがわかり、次年度以降



心理学講座の様子

も開催していければと考えています。「心理学」は大学で初めて学ぶ科目ですが、人間はオギヤーと生まれた時から、自分や他人の心を考えて生活しているので、心理学は身近な学問です。この講座をきっかけに高校生に限らず多くの市民に関心を持って頂けることを願うとともに、同講座を継続していきます。

本学における公認心理師受験資格取得のイメージ

別府大学文学部人間関係学科で必要な科目を履修

別府大学大学院
文学研究科臨床心理学専攻で
必要な科目を履修

受験

・他大学院へ進学
・実務経験

受験

公認心理師試験

合格

公認心理師資格取得

公認心理師って？

公認心理師とは、2018年に日本で初めて心理職の国家資格に認定された資格です。別府大学人間関係学科及び大学院臨床心理学専攻では、公認心理師に対応したカリキュラムが整っています。公認心理師の資格取得後には、病院のカウンセラー、学校のスクールカウンセラー、警察のプロファイラーなどの専門職として勤務できます。

育ドル娘と大学附属図書館がコラボ

～『魔女の宅急便』創作スイーツカフェ～

食物栄養科では、11月4日に大分県立図書館で開催された角野栄子氏（児童文学作家、2018年国際アンデルセン賞作家賞受賞の講演会に合わせて、『魔女の宅急便』創作料理レシピ発表会を開催し、優秀作品として、「魔女の宅急便 時計台ワッフル」「魔女の宅急便 恋するオムライス」の2品を選出しました。そして、大分県立図書館内の「ディッシュ椿カフェ」（第33回国民文化祭期間中）で提供しました。また、本学図書館でも魔女の宅急便カフェ（10月24・25・26日）を開催し、

60名の学生が、魔女の宅急便創作スイーツを楽しみました。初めての図書館とのコラボでしたが、大学内での開催は、大学生同士の交流につながりました。

食物栄養科の調理実習授業では、アートたけし展で絵画を鑑賞したり、「マイ・フェア・レディ」のミュージカルを観劇し、創作料理を考え、調理する学習をしています。調理技術だけでなく、発想や創造力を豊かにし、汎用力や応用力を身につけるための学習にも力をいれています。



テーマに沿った作品がこんなに！



優秀作品の時計台ワッフル



角野さんの作品も附属図書館内で展示されました

平成31年度 大分県中学国語教員採用試験に現役合格!!

国際言語・文化学科日本語・日本文学コース4年生の奥愉理さんが、「平成31年度大分県中学国語教員採用試験」に現役合格を果たしました。

奥さんが、教員採用試験の対策を始めたのは、昨年4月から。スタートはやや出遅れましたが、それから必死で過去問題集に取り組み、無事二次試験をパス。二次試験の模擬授業は、国語科教育法担当の国際言語・文化学科・高木伸幸教授とともに練習に励み、これも見事にクリア。最終面接に向けて、キャリア支援センターの副センター長・佐藤敬子教授のアドバイスも受けて、遂

に最終合格を手に入れました。

奥さんは「現役合格できて、とても嬉しかったです。別府大学の先生方の温かいご指導に感謝します。無事合格できましたが、4月から教壇に立てるよう、これから今まで以上に勉強しなければいけないな、と思っています」と、喜びを語ってくれました。

国際言語・文化学科日本語・日本文学コースでは、中学・高校の国語教員養成に力を入れ、過去6年間で、新卒正規採用者を11名輩出しています（私立学校採用含む）。今後も国語教員を目指す別大生の頑張りにも期待しています。



教育実習を全力で取り組みました！



2年生から使っている「教職履修カルテ」は大切な宝物に

09 学生たちの集大成！

専攻科
初等教育専攻 専攻科初等教育専攻の修了論文発表会

1月30日日本学にて、「平成31年度別府大学短期大学部専攻科初等教育専攻修了論文発表会」が行われました。今年度は、11名の学生が発表し、ほとんどが小学校現場と協力して、調査や実践をした内容となっており、非常に質の高い充実した発表会となりました。発表のタイトルは『小学校水泳授業の現状と児童および教員の意識調査』、『小学校国語科の説明的文章における「批判的な読み」を用いた学習プロセス及び指導法の一考察」などです。



修了論文発表後の学生の晴れやかな表情！

指導が可能となっています。また、ほとんどの学生が卒業後は小学校教諭になることを希望しているため、この論文の作成を通して学んだことを活かして頑張ってくれることと思います。

こどもたちとクリスマス ソングを一緒に!!

こども幼児Canぶ研究会による
聖夜の前夜祭

12月23日に的ヶ浜公園・スパビーチで行われた「べっぷクリスマスファンタジア2018」に、初等教育科研究会の「こども幼児Canぶ研究会」が参加しました。

「べっぷクリスマスファンタジア」では、毎回「こどもたちとクリスマスソングを歌う会」というイベントがあり、そのイベントを本研究会が主として毎年担当しています。今回は、別府市内の約200名のこどもたちと43名の学生が、メインステージの上で多くの方々を前に、振り付けを交えながら熱唱しました！



ステージ上で楽しくクリスマスソングを歌う学生たち！

こどもたちとの関わりだけでなく、保護者や企画・運営をしている別府青年会議所の方々との関わりもあり、学生は社会に出て役に立つ貴重な経験をしています。初等教育科に入

06

国際経営
学科



長野市長による熱弁



壇上から降りて、学生と討論しています

学生との熱い討論を展開！

国際経営学部創設10周年記念事業

国際経営学部は12月1日3号館ホールで、「国際経営学部創設10周年記念事業」を開催しました。この催しは、学校法人別府大学創立110周年記念事業の一環として行いました。

まず、第一部として式典を行い、長野恭紘別府市長および佐藤瑠威学長からご挨拶をいただきました。次に第二部では、最初に友成真一早稲田大学大学院教授による「地方創生における地方大学の役割」をテーマとした記念講演がありました。この中で友成先生は「多くの大学が前のめりになって地域貢献を唱えるが、地域が主体となって大学を使う発想の方が、両者の関係はうまくいく」と力説さ

れました。更に「大学の最大の資源は学生で、学生は『働くこと』より『生きること』のプロだ」との言葉には参加者の多くがうなずいていました。

記念講演後、シンポジウムが開催されました。パネリストを友成先生、長野別府市長、清田遼大分合同新聞社論説委員長、中山昭則学部長、コーディネーターは阿部博光学部長が務めました。このシンポジウムは型破りで、パネリスト全員が会場に降りて学生たちと対話をする形式でした。中には、市政の方向性について長野市長に必死に食い下がる学生や「地域住民とのフラットな関係」について熱く質問を投げかける学生もあり、白熱したシンポジウムとなりました。

本事業を通して、参加者全員が国際経営学部の進むべき方向性について共通の認識を持てたのではないかと確信しています。

学校法人別府大学 創立110周年記念式典



学校法人別府大学 創立110周年記念式典

建学の精神のもと 地域に根差した人材育成を目指して

学校法人別府大学は、11月15日(木)に別府ビーコンプラザにて学園創立110周年記念式典を挙行了しました。当日は、各界の来賓、学園の学生、生徒、児童、教職員など約4,000名が一堂に会し、110年の節目を祝いました。

式典では、主催者を代表し二宮滋夫理事長が、「地域に根差し、地域に貢献できる大学、学校を育成してきた。今後も建学の精神のもと、地域に立脚した教育活動に全力を尽くしたい」と式辞を述べました。続いて、広瀬勝貞大分県知事、長野恭弘別府市長が、学園の卒業生が県内・市内のさまざまな分野で活躍していることを紹介するとともに、今後も魅力ある学園づくりに期待したいと祝辞を述べました。また、生徒、学生の代表者が「明日への決意」として発表を行いました。明豊高校2年の真島千奈さんは、ソフトテニス部に所属しており、卓越した技術を身につける



宇宙飛行士の山崎直子氏による記念講演

だけでなく、社会に必要とされる人材になれるよう努力をしたいと語りました。また、別府大学食物栄養科学部発酵食品学科3年の河野共喜さんは、「夢米棚田プロジェクト」の取り組みを紹介し、将来は醸造発酵分野で活躍したいと決意表明をしました。

(※P16に河野さん紹介)

式典に続く記念講演では、宇宙飛行士の山崎直子氏が「宇宙・人夢をつなぐ」と題して講演を行いました。講演後は、宇宙にロマンを馳せる学生、生徒、児童から質問が相次ぎ、盛会のうちに終了しました。



明星小学校児童全員による合唱



生徒代表の真島千奈さん



学生代表の河野共喜さん



式辞を述べる二宮滋夫理事長

日時 平成30年11月15日(木)
場所 別府ビーコンプラザコンベンションホール

ベスト
カッ…ブル!!?

吹奏楽団

イエーイ!!

第73回 石垣祭 in 別府キャンパス 2018.11.3 SAT & 4 SUN

さわやかな秋晴れのもと、11月3日(土)～4日(日)に別府キャンパスにて、「第73回石垣祭」を開催しました。恒例のミス・ミスターコンテストやカラオケ大会、ライブなどのステージイベントのほか、サークルや学科による屋台の出店、作品展示、研究発表などが行われました。また、4日の「お笑い芸人LIVE」では、ゲストのアキラ100%さんとすぎざきけいけさんが会場を盛り上げてくれました!!!ご来場くださったみなさん、ありがとうございます。

ミス・ミスターコンテスト

ミスター
別大!!

ミス
別大♡

国際経営学部
国際経営学科
2年 角畑 僚太

短期大学部
初等教育科
2年 川崎 凛

軽音
サークルの
ライブ!!!

いらっしやい
ませー♡

沖縄県人会
エイサー

今年の
石垣祭を
盛り上げました!

カラオケ
大会優勝

お笑いLIVE

盛り上って
ますかー!!!!

2人仲良く
ペアルック…?

第73回石垣祭実行委員



短期大学部 食物栄養科 准教授

衛藤 大青

Daisei Eto



研究室訪問 学びのトビラ Vol.10

別府大学の学びの最先端をレポートします。

プロフィール

1982年大分県杵築市生まれ。2008年日本大学大学院生物資源科学研究科応用生命科学専攻博士前期課程卒業。修士(生物資源科学)。別府大学短期大学部では食品学、食品加工学などの講義を担当。著書「食べ物と健康、食品と衛生食品加工・保蔵学」(共著/株式会社講談社サイエンティフィク/2017年)。趣味は居合道、写真撮影など。



学園祭に研究会で出店した時の看板。毎年学生が手描きし、細部までこだわって作っています。

調理時の扱いがデリケート!身体に不可欠なビタミンの研究

「ビタミンC」の効果

また、ビタミンCには強い還元性を持つという特徴もあります。この特徴を利用して、食品加工の分野でビタミンCは、油脂やビタミンAなどの酸化防止剤として利用されています。また、色素が酸化されると食品の色が

「ビタミンC」の研究

私の専門は食品加工学と食品学です。大学で行っている主な研究では、ビタミンCについて調べています。ビタミンCは多くの野菜などに含まれ、身体の中ではコラーゲンを作る際などに必要となり、体内への鉄の吸収を助ける作用なども持ち、生きるためには欠かすことのできないビタミンです。しかし、熱や光に弱い、酸化などの変化を受けやすい、水溶性であるため煮汁などに溶出するなどの特徴も持ち、調理による損失が大きいビタミンでもあります。私は、このビタミンCについて、どのような野菜に多く含まれるか、産地や生育方法によって含まれる量に変化はあるのか、調理方法による損失とそれを防ぐためにはどのような方法が考えられるか、などを調べています。

学生と行う加工食品開発

ビタミンC以外の研究では、大分の食材を利用した新しい加工食品の開発などを、学生と協力して行うなどしています。山と海に面した大分県には、すばらしい食材が豊富にあり、それらの食材を活かして開発された優秀な食品も、すでに多くあります。しかし、まだまだ新しい食品を開発することはできます。最近では杵築のお茶を利用したジャムの製作や、猪を用いたジャーキーの製作などを行いました。他にも椎茸のうま味を含ませた塩の開発や、カボスの風味を付けたバターの開発など、多くの事にチャレンジしています。現在の目標は、学生と共に新しい食品を開発し、それが全国

～ Other sides of Daisei Eto ～

2018年5月に行われた食物栄養科オリエンテーションで、サッポロビール九州日田工場に行った際の写真。ビールの製法や歴史など勉強できました。



大学での実験中の1枚。食品が含む栄養素やその他の成分について、色々な研究を行っています。



研究会活動で、学生と一緒に作ったちぎりパン(ハロウィンバージョン)。研究会活動では、パンやジャム、ソーセージなどの加工食品を、作り方の原理などを勉強しながら作っています。

自宅で飼っている猫(オス)。二匹飼っているうちの1匹です。家に帰った後の癒しになっています。ときどき、こちらが予期できない悪戯を行って大いに困らせることもあります。

で知られる商品になることです。そのためにも、より深く大分のことを知り、食材についての知識を深め、加工の原理について勉強と研究を行い、学生と切磋琢磨しながら努力をしていきたいと考えています。

趣味の
カフェ巡りが
少なくなっていたので
ツーリングで
カフェ巡りを
増やす



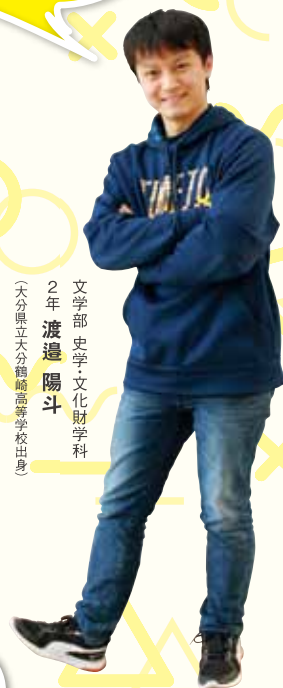
国際経営学部 国際経営学科
2年 嶋田 航大
(大分県立佐伯鶴城高等学校出身)

ピアノを
1曲完璧に
弾けるようになる



短期大学部 初等教育科
2年 不二原 早紀
(大分県立臼杵高等学校出身)

吹奏楽で
演奏できる
楽器を
増やす!



文学部 史学・文化財学科
2年 渡邊 陽斗
(大分県立大分鶴崎高等学校出身)

テーマ

“平成最後”に
やっておきたいこと



キャンパスボイス

Campus Voice

今年の4月1日に新元号の発表があり、5月1日からは新元号に移行します。

“平成最後”というワードがニュースでもよく見られるようになりました。

別大生にも、“平成最後”にやり残したことや新たに挑戦したいことを聞いてみました!

船に乗って
釣りをする



国際経営学部 国際経営学科
3年 渡邊 竜哉
(高知県立高岡高等学校出身)

車の免許を取って
九州旅行をする



食物栄養科学部 発酵食品学科
3年 石塚 麻未
(高知県立岡豊高等学校出身)

海外に行き、
英会話力を向上させる



国際経営学部 国際経営学科
2年 渡邊 大納
(大分県立大分鶴崎高等学校出身)

講義と育ドル娘の両立で 充実した短大生活に

食育普及活動グループ「育ドル娘」の8代目メンバーとして県内各地で食育ステージや、地域活動に取り組んだ幸さん。これまでの活動を活かし、卒業後はこども園の栄養士として子どもたちに食の楽しさを伝えたいと張りきっています。

育ドル娘に入ったきっかけを教えてください。

食物栄養科には、大学案内を見て、大学生活が楽しそうで興味を持ちました。入学するまで育ドル娘のことは知りませんでしたが、顧問の立松先生にスカウトされました(笑)。最初は人前に出ることが恥ずかしくて断っていましたが、それでも先生が勧めてくれたので、チャレンジすることにしました。

2年間の活動を振り返っていかがですか？

育ドル娘に参加していなければ、家と学校の往復だけだったと思います。県内各地のイベントで食育ステージに出演したり、地域や企業の方とお話する機会もあり、すごくいい経験ができ、充実した2年間で過ごすことができました。

活動で印象に残っている活動は？

昨年、大分県立美術館で開催された「アート&デザインの大茶会」展にコラボしたパフェを提案したのですが、テキスタイルデザイナーの須藤玲子さんの作品をイメージした私の案が採用してもらえたことがうれしかったです。須藤さんも食べてくださって感激しました。

今後の目標を教えてください。

卒業後は、大分市のこども園の栄養士として働くことが決まりました。食育活動を重視しているので、授業や育ドル娘で活動した経験を生かして、子どもたちに食べる楽しさを伝えていきたいです。

後輩へメッセージをお願いします。

短大の2年間はあっという間ですが、短期間にぎゅっと詰め込んで、栄養士としての基礎が身に付きました。食物栄養科は、レシピ提案や学内コンテストなどで企画力やアイデア力が身につきます。自分の力を試すことができるので、たくさんチャレンジしてください。

夢米棚田プロジェクトの活動を 「いい夢」につなげたい

大分農業文化公園の棚田で米栽培に取り組む「夢米棚田プロジェクト」のリーダーを務め、学業も課外活動も積極的に取り組んでいる河野さん。学校法人別府大学創立110周年の記念式典では、学生代表挨拶の大役を果たしました。

発酵食品学科を選んだ理由は？

実家の近くに小さなパン屋さんがあり、そのパンがおいしくて大好きでした。大きくなって、パンは「発酵」によってできあがることを知り、発酵に興味を持つようになりました。別府大学のオープンキャンパスで、発酵食品を専門にする学科があることを知り、入学を決めました。

夢米棚田活動での取り組みを教えてください。

大分県と別府大学の連携プロジェクトで、大分農業文化公園の棚田で、米や大分県の特産品である七島イを栽培しています。この活動をきっかけに、七島イの香気成分についても研究し、学会やビジネスアイデアコンテストでも発表しました。

創立110周年の記念式典の学生代表スピーチはいかがでしたか？

事前に何度も練習して当日に臨みました。大役でとても緊張しましたが、先生方から代表に推薦をいただき、よい機会となりました。

どんな講義が面白いですか？

「微生物工学実験」では、麹菌や乳酸菌など微生物の働きをみることができ、すごく面白いです。また「発酵食品製造実習」では、ヨーグルトやアンチョビなど発酵食品を作り、それを使って調理をするので楽しいですね。

今後の夢は？

微生物や食品についてもっと学びたいので、大学院進学を目指しています。発酵食品の新しい可能性を拓きたいと思います。学生時代は何でも挑戦して、その経験を次のステップにつなげたいです。

クローズアップ

Closeup!

別大生

キラリと輝く別大生を紹介します。

短期大学部
食物栄養科 平成30年度卒業

幸 美里

(大分県立大分南高校出身)



「アート&デザインの大茶会」コラボパフェ。美術館内の「カフェシャリテ」で期間限定で提供されました



Instagram「いんどるさんぽ」では、別府の情報を発信。新しい発見がたくさんできそう

食物栄養科学部
発酵食品学科 4年

河野 共喜

(福岡県立星嶺高校出身)



最近お気に入りの本。小倉ヒラクさんに講義してもらいたい!



手作りあまぎけ、味噌汁、納豆のトリプル発酵で健康生活



サークル

バドミントン部



自前のラケットとシャトル

バドミントン部 キャプテン
国際経営学部 国際経営学科 3年
長山 愛里
(大分県 明豊高等学校出身)

学生からのひとこと

バドミントン部は、12月に開催される大会にむけて、毎週火曜日と木曜日の17時半から約2時間練習しています。経験者はもちろん、未経験者も大歓迎!バドミントンが好きな人や他学科の学生と交流したい人はぜひ見学にお待ちしています!!



サークル紹介

学部、学科を超えた絆は、人生の宝物

学生からのひとこと

イラスト研究部は、毎週月曜日と木曜日の18時から1時間半、活動しています。活動は、絵を描くのが好きな人、絵を描くのが好きな人、絵が上手になりたい人は、ぜひ見学にいらしてください。



部内誌の絵と練習のスケッチです

イラスト研究部 部長
文学部
史学・文化財学科 3年
岩本 凜
(山口県立光丘高等学校出身)



自己表現のスペシャリスト!

「絵を描いていると、自由な感じがして好きなんです」イラスト研究部部長の岩本さんは、照れ笑いを浮かべながら語ってくれました。
愛好会から始まり、創部から27年が経過した現在、イラスト研究部として部員22名が活動しています。活動内容は主に大学祭での展示と、部内で閲覧する部内誌の制作です。大学祭で作品を展示する際は、部員のオリジナル作品を展示します。部内誌にはオリジナル作品に加え、模写した作品を載せることも。力作が冊子となり、部員一人ひとりの個性が絵にあらわれているのが面白いです。

イラストを描き始めたきっかけは、幼い頃に見た星座の本の挿絵に感動したり、好きな漫画を模写し始めたことが理由であったりと十人十色ですが、「描いている時がとても楽しいから」というのが共通の理由です。自分ですらすらと、自由に描くことが最大の魅力だと教えてくれました。
現在の目標は、部員の描いた絵を多くの人に観てもらうこと。外部で展示会を行うこともあり、この活動を後輩にも引き継いでいき、イラスト研究部をアピールしていきたいと熱く語った岩本さん。静かな情熱を持っているイラスト研究部、この熱さは本物です。

イラスト研究部



サークル

ふわふわ豆乳フレンチトースト



Point

油やバターを使わないので、ヘルシー!朝食やスイーツにおすすめです!

材料(2人分)

フランスパン 4切れ(3cm幅)

④ たまご
豆乳
きび砂糖

1個
100ml
10g

メープルシロップ
はちみつ

適量
適量

Be-Recipe

作って、食べて、元気になろっ♥

平成29年度別府市ONSENアカデミア事業「アクティブシニア層の健康増進モニターツアー」採用メニュー。地獄釜を利用する料理として提案したのですが、ご家庭の蒸し器でもおいしく作れます!!

作り方

- ① 平らなバットに④を入れ、よく混ぜ合わせる。
- ② フランスパンを①によくつける(15分以上)。時々ひっくり返す。
- ③ せいろにクッキングシートを敷き、②をのせて8分蒸す。
- ④ お好みでメープルシロップかはちみつをかける。

※蒸しりんご(耐熱皿にのせて10分蒸す)やアイスクリームを添えるのもおすすめです

別大生の御用達

別大周辺のちょっといいお店



店主の日高昭彦さん。毎日4時半から仕込みをしているそう



ごぼう天うどん(太麺)

席について驚くのは、メニューの多さ!「たくさんメニューがあったほうが、お客さんもうれしいと思う」と、サービス精神旺盛な日高さん。写真のごぼう天うどん、ぜひ一度食べてみて!ごぼう天はカラッと揚がってサクサク。こだわりの手打ち麺といりこと乾しいたけの出汁で作ったつゆにも味わい深さがあります。

温・冷・太・細麺、ハーフサイズに麺増量…、選ぶ楽しみがあり過ぎます!!

店主の生真面目さが光る

うどん ひだか



コーディネートアカデミージャパン
生活空間コーディネーター
川口 勢津子さん

短期大学部 生活科食物専攻科 卒業
(別府青山高校出身)



おいしく食べるだけでなく コミュニケーションを 円滑にする時空間を演出したい



皿の重ね方や、カトラリーを置く位置など細かな配慮が心地よさを生み出します

昨年12月、食物栄養科学部食物栄養学科3年生を対象に「テーブルコーディネート講習会」が開催されました。講師を務めたのは、本学卒業生の川口勢津子さんです。お正月をテーマにした講義と、実際にお皿やクロスなどを用いて、食空間演出の奥深さを紹介しました。

川口さんは、短大を卒業後上京し料理の勉強を深め、料理の道を歩んでいました。その後、食空間の世界へと学びの場を広げていきました。そんな中、転機となったのは、阪神・淡路大震災です。神戸で被災し、生活を取り戻すことに夢中になっていた時期、お子さんが通う幼稚園の先生から、安全な園内で楽しめることを考えてほしいと依頼されました。川口さんは、これまでに学んできた食を介した時空間づくりを試み、ランチルームに風船や

色画用紙などで彩りを加えた演出をしました。すると、震災で心が沈みがちだった子どもたちに笑顔があふれてきました。「食空間を演出することが、どれだけメンタルに働きかけることができるのか実感しました」と、当時は振り返りました。

その後、テーブルコーディネートやディスプレイを専門とする「食空間スイトフラッグ」を設立。現在は、日本を代表するコーディネーター秋篠野安生氏に師事し、より幅の広い知識や技術を習得するためにスタッフとして活動しています。

「時代の中で心が求める色や季節の植物、食物をコーディネートする力は、今後より重要になってくるという意識を、食に携わっていく学生のみならずにお伝えできれば」と、熱い想いを語ってくれました。「食べるものだけでなく、食を介した時空間を演出したい」と、川口さん。本場の豊かさが問われる今こそ、食の時空間がより重要になっていくことを確信しています。



クリスマスらしい演出

代表取締役
若狭 敏晴さん
常務取締役
佐伯 尚治さん

文学部 美学美術史学科
平成7年度卒業(群馬県立前橋工業高校出身)
文学部 美学美術史学科
平成7年度卒業(東洋大学附属姫路高校出身)

株式会社 創翔の里



同級生二人で描く大きな夢、 子どもたちが笑顔で過ごせる 居場所づくりを目指して

創翔の星HP <http://www.s-sosho.co.jp>



宿題にも楽しく取り組めるようサポートしています

「放課後等デイサービス」は、発達に課題を抱える児童を放課後から家に帰るまで預かる福祉サービスで、2012年の制度開始以来、全国で広がっています。

「私たちは、学校と家庭の間の施設としての認識を持ち、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目指しています」と話すのは、「放課後等デイサービスかぼすの丘」を運営する「株 創翔の里」若狭敏晴さんと佐伯尚治さんです。二人は、文学部美学美術史学科の同級生で、卒業後、それぞれ福祉の道に進んでいました。二人で将来のことを語り合う中、放課後デイサービスの重要性を互いに強く感じていたことが、起業につながりました。平成28年に別府市荘園に最初の施設を開設後、3年の間に別府市と国東市武

蔵町に5つの施設を開設しました。

「集団になじめなかった子どもが、コミュニケーションがとれるようになったり、相手の気持ちを考えられるようになります」と、佐伯さん。スタッフが、子どもたち一人ひとりにじっくりと向き合う姿勢は、家族にも安心できる場所になっています。

二人とも県外出身ですが、第二のふるさとである別府だからこそ、母校のつながりに助けられているそう。スタッフとして別府大学の卒業生が多数勤務し、活躍しています。

「今後は、今施設を利用している子どもたちが大人になっても、手助けできるような仕組みをつくっていきたいです」と、若狭さん。同級生二人で語り合った夢が、今大きな花を咲かせようとしています。



遊びや課題を通じて得意なことを磨きます



**仏ポールヴァレリー・モンペリエ大学と
交流協定を締結しました**

本学はポールヴァレリー・モンペリエ大学（モンペリエ第三大学）との間で、留学に関する特別協定を締結しました。10月10日、飯沼賢司文学部長がポールヴァレリー大学を訪問し、ジリ学長と学生交流についての覚書を交わしました。両大学では、これまで20年に渡り、研究・教育面で緊密な交流を続けてきました。今回の特別協定で、本学においては学生交流の対象を学部生まで広げ、またポールヴァレリー大学側では、日本語教育の講座を新しく開設するなど、双方でさらに積極的な交流の推進を目指します。

趙佳琳さんが「日本語スピーチコンテスト」で最優秀賞受賞

10月30日、大分市の楊志館高等学校がホルトホール大分で行った「第16回外国人による日本語スピーチコンテスト」で、本学国際言語・文化学科の趙佳琳さん（台湾出身）が最優秀賞を受賞しました。「台湾人はせっかちで、日本人はのんびり？」をテーマに、表現力豊かに流暢な日本語でスピーチしました。

佐藤真大さんが空手の西日本大会で優勝しました

国際言語文化学科の佐藤真大さんが、12月2日にべつアリーナ（別府市）で開催された「第21回」進会杯争奪西日本空手道選手権大会（主催：一進会）の上級・重量級の部（一般）で優勝をしました。また、大会で最も活躍した選手に贈られる「最優秀選手賞」にも選ばれました。



「第2回大分キャラクター大賞」受賞作品

大分県の魅力を全国に発信することを目的とした「第2回大分キャラクター大賞」を実施しました。一般部門、高校部門合わせて応募総数は544作品に及び、海外からの応募もありました。大賞は、中尾花湖（千葉県）さんの「おおいたちや・ちゅ・ちよ」が選ばれました。



1300年以上続くどぶろくづくりに参加しました

杵築市大田の白鬚田原神社では、710（和銅3）年の神社創建以来、続く「伝統あるどぶろくづくりに、本学発酵食品学科の学生、教職員20名が参加しました。氏子のみなさんと交流しながら伝統あるどぶろくづくりを体験できることは、将来酒造や発酵に関する仕事を目指す学生にとって貴重な経験になりました。



表紙の写真



今回は大学からすぐ近くの湯けむりの街「鉄輪温泉」で撮影しました。山元さんはこの春から福岡で就職します。疲れたら、鉄輪温泉へリフレッシュに帰ってきてくださいね。
左／山元 千聖さん 食物栄養科学部 食物栄養学科 平成30年度卒業
右／宮邊 創さん 文学部 国際言語・文化学科3年

Be-Newsへのご意見ご要望がございましたら、下記までご連絡をお願いいたします。
別府大学・別府大学短期大学部 広報室
〒874-8501 大分県別府市北石垣82
TEL: 0977-66-6262
E-mail: koho@nm.bepu-u.ac.jp

特集「別府・温泉・大学」の後篇でも、別府大学と温泉の、深く強いつながりを再確認できます。そもそも別府大学は、一遍上人に因む、上人ヶ浜から、上人が拓いた、鉄輪温泉の途中に立地しています。今年は、期間限定の「別府・温泉・大学」開学する予定です。大学の秘湯に入れるかも？乞うご期待！です。

編集後記

地域連携



城下町一帯で、別大生が活躍！「きつき大茶会」



城下町一帯で学生ボランティアが活躍



別府大学ブース



育ドル娘の食育ステージ

2018年秋「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」が大分県各地を会場に開催されました。このイベントの一環として、杵築市では古今東西の喫茶を感じさせるマーケットとお茶会を中心にした「きつき大茶会」が10月20日（土）・21日（日）に開催され、このイベントを盛り上げるため、のべ200名近い本学学生・教員が参加しました。

杵築市は、江戸時代の武家屋敷が残る城下町です。事前に城下町の歴史などレクチャーを受けた学生たちは「城下町ボランティア」として来場者へのガイドや、外国人観光客への通訳、障がいのある方たちのサポートなどを務め、城下町マップの制作も行いました。別府大学ブースでは、大学オリジナルの「大麦カレー」や手作りの「お茶ジャム」の振る舞い、会場ステージでは短大食物栄養科の育ドル娘が食育ステージを披露しました。

秋晴れの天気恵まれ、多くの来場者がある中、本学学生は杵築市の地域の方と一緒に、来場者へのおもてなしができました。

留学生が国東市立旭日小学校と交流

11月7日（水）に、日本語教育研究センターが国東市立旭日小学校で、昨年から引き続き2度目の交流授業を行いました。

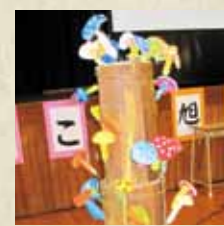
最初に、留学生の各国紹介のプレゼンテーションや中国語と日本語の歌を披露しました。続いて、小学生の花笠踊りの披露があり、その後、低学年グループは遊び広場、高学年グループは「ドラえもん」の漫画を使った面白いゲームをして交流しました。

午後は、「みんなで作るいろんなキノコ」という合同美術授業（造形）を行いました。小学生と留学生がペアを組んで互いにコミュニケーションをとりながら、カラフルで個性的なキノコを作り、旭日小学校の先生方手作りの「原木」に飾り付けました。

授業で企画・実施した国際言語・文化学科の芸術系の学生2名も、予想以上にもっと面白い作品が多数できたと驚いていました。



旭日小学校の元気な児童のみなさんと楽しく交流しました



「原木」に飾られたカラフルなきのこ